

平成26年度内閣府 地震・津波防災訓練

【愛知県西尾市】

実施報告書
(概要版)

実施概要

愛知県西尾市について

西尾市は、愛知県のほぼ中央を北から南へ流れる矢作川流域の南端に位置し、東に三ヶ根山などの山々が連なり、西に矢作川が流れ、南は三河湾を臨みます。実り豊かな大地と温暖な気候が相まって、古くは縄文の頃より人の暮らしが営まれてきました。

西三河南部地域の中核的な都市として自動車関連産業の発展とともに成長を続けてきました。一方で日本有数の生産量を誇る抹茶（てん茶）やカーネーション、養殖うなぎ、アサリなど農水産物の生産拠点としても発展しています。

人口は約170,000人となっています。

平成26年5月に愛知県防災会議より発表された、「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」によれば、過去地震最大モデルによるシミュレーションで、西尾市は津波高4.4m、浸水面積は県下最大の5,173haとなると想定されました。建物被害は約15,000棟、人的被害（死者数）は約1,800人にのぼるとされています。

愛知県下では最大級となるこの想定を西尾市は強く受け止め、昨年に引き続い「17万人市民まるごと防災訓練」を実施し、対策に取り組んでいます。



参照:西尾市ホームページ

訓練概要

■訓練想定：11月5日（水）午前9時、南海トラフを震源とするマグチュード9.0の地震が発生した。

午前9時4分、名古屋地方気象台より大津波警報が発表された。

■日 時：11月5日（水）

第一部 初動訓練（市内各地） 9:00～10:00

シェイクアウト訓練・樋門操作訓練 9:00～

津波避難訓練 9:04～

第二部 実動訓練（坂田球場及び周辺） 9:05～12:00

応急施設設営訓練 9:05～

被災情報収集訓練 9:20～

救出・救助訓練 9:40～

炊出し訓練 10:00～

展示・体験 10:00～

消火・障害物除去訓練 11:00～

■実施体制：主催／内閣府、西尾市

■参 加 者：約36,000人

住民、吉良高校、一色中学校、一色中部小学校、一色南部小学校、一色東部小学校、一色西部小学校、白浜小学校、白浜保育園、関係機関・団体等
(5ページ参照)

※17万人市民まるごと防災訓練として実施（153団体）

訓練報告

当日の訓練内容

■第一部 津波避難対象地域

9:00～ シェイクアウト訓練等

地震発生想定時刻の9:00に同報無線等で緊急地震速報が伝達され、市役所をはじめ関係機関が初動体制を構築した。市内の全域でシェイクアウト訓練を実施するとともに、消防団による柵門操作訓練を実施した。

▼シェイクアウト訓練



▼消防団による柵門操作訓練



9:04～ 津波避難訓練

大津波警報の発表を受け、白浜地区の吉良高校、白浜小学校、白浜保育園の園児・児童・生徒と地域の自主防災会員は、高台である正法寺古墳公園に避難した。

▼交通指導員等の誘導で避難する小学生



▼正法寺古墳公園に避難



■第二部 実動訓練会場（坂田球場及び周辺）

実動訓練会場となった坂田球場及び周辺海上、空域では、42の訓練参加機関・団体等が相互に協力して約60項目にわたる実動訓練を展開した。

9:05～ 応急施設設営訓練

坂田球場を避難所と想定し、市現地災害対策本部、臨時ヘリポートをはじめ、各施設を設営して訓練を行った。

▼市現地災害対策本部の設営



▼応急救護所の設営



9:20～ 被災情報収集訓練

被災地の通信環境、情報収集体制の確保を行った。
郵便局、陸上自衛隊、県警機動隊のバイクにより早期の被災情報収集を行い、指揮系統に伝達する訓練を実施。

▼県警先行情報隊による被災情報収集



▼上空から避難広報・被災情報収集にあたる県警ヘリ



(次ページに続く)

訓練報告

当日の訓練内容（続き）

9：40～ 救出・救助訓練

倒壊ビル、倒壊家屋からの救出・救助、海上に流出した家屋からの救出・救助など、情報伝達、捜索、救助、負傷者搬送にいたる一連の訓練を各機関が連携して行った。

▼被災者を捜索する災害救助犬



▼航空自衛隊ヘリによる海上流出家屋からの被災者救出・救助



10：00～ 炊出し訓練

陸上自衛隊、西尾市赤十字奉仕団及び中学生が、おにぎり、豚汁を調理して来場者に提供した。また、西尾市婦人消防クラブは、被災後数日が経った時点を想定し、調理方法や献立を考案して、ポリ袋で調理した料理を提供した。

▼炊出し訓練に参加する中学生



▼西尾市婦人消防クラブのポリ袋炊飯



10：00～ 展示・体験

坂田球場及び周辺の実動訓練会場では、23の機関が展示や体験コーナーを開設した。

▼地震体験車「なます号」



▼津波救助艇乗船体験



11：00～ 消火・障害物除去訓練

自主防災会による初期消火訓練と消防ポンプ車による消火訓練を行った。また、西尾市建設業災害防止協会による道路の障害物除去訓練も行った。

▼消火器による初期消火訓練



▼障害物除去訓練



今後に向けた課題

アンケート結果(記述式)

1 今回の訓練は有用であったか

- 有用（有意義）であった。防災意識の高揚が図れた。
- スムーズな進行を行うため、詳細な調整及び周知が必要であった。

2 訓練での改善点

- 津波避難訓練は、浸水が想定される他の地域でも実施できると良い。
- 高台が近くにない海岸線付近の住民を対象とした津波避難訓練の実施について検討して欲しい。
- 参加者は防災意識が高く、関心のある人であるが、参加していない人に対する工夫が必要。
- 会場内の放送アナウンスが聞こえにくかった。
- 他会場の訓練の様子を大型スクリーン等で見ることができたほうが良い。
- 非常食の配布だけでなく、他の参加者との意見交換できる場が欲しかった。
- 一斉放水訓練は不要。より実践的な訓練を実施すべき。

3 日程、実施項目等についての改善

- 平日でなく土曜又は日曜日の実施を希望。
- スケジュールは年度の初めに連絡して欲しい。
- 一般住民が協働する訓練項目を増やして欲しい。

4 今後どのような訓練が必要か

- 同様の展示型訓練
- 他機関及び住民と連携した応用力を習得できる訓練
- 校区規模の訓練
- 医療連携訓練
- 避難所運営訓練
- 海上（船舶）輸送、物資拠点、陸上（トラック）輸送等の一連の流れによる緊急物資輸送訓練
- 情報連係、情報共有、連絡体制の構築、情報収集訓練
- 外国人を対象とした訓練
- 小型船の利点を生かした訓練

5 小中学生の参加について

- 小中学生に対する防災意識を高めることができ、有意義であった。
- 責任感と連帶意識醸成に繋がり、大きな成果が得られた。
- 地域との結びつき、相互扶助の心を養う上で非常に意義があった。
- 有事の際大きな力を発揮してもらえることが期待でき、今後も積極的に同様の訓練に参加すべきである。
- 中学生が訓練の目的及び要領等をあまり理解しておらず、事前の防災教育等の十分な説明が必要であった。
- 中学生自身が考えた主体的な訓練を実施する必要がある。

今後に向けた課題（続き）

訓練の評価・課題等（西尾市より）

本訓練では、「南海トラフ巨大地震にあらゆる力を結集して立ち向かう…西尾市の未来のために」をスローガンに、市内の小中学生約1,500名が参加した。実動訓練への参加や展示・体験を通じて、西尾市の未来を担う小中学生の防災意識の向上を図れたものと考える。また、中学生の防災力発揮を重点に、炊出し、避難所開設訓練等を実施したが、中学生の力が予想以上の戦力になることが判明した。

多数の防災関係機関の参加を得て、地震・津波災害への対応の練度向上並びに国と防災関係機関との連携強化や地域の防災体制の確立、住民の防災意識の高揚を図ることができたものと考える。

今回の訓練は有用（有意義）であったとの回答が多数の参加機関から得られ、全般としては、問題なく訓練が実施できたものと考える。

準備期間が5か月とかなり短かったが、多くの参加機関からは、準備期間等は適正であったとの意見が大多数であった。

展示型の訓練については、大多数の参加機関が継続実施を望んでおり、「17万人まるごと市民防災訓練」を実施しつつ、展示型の訓練についても実施したほうが良いものと考える。また、最も重要な情報連係、情報収集等の訓練については、多くの機関が訓練の継続を希望していることから、今後も重点的に実施していく必要がある。

一方で、次のような課題が指摘された。

- 「中学生が訓練の目的を理解していない」、「中学生自身が考えた主体的な訓練が必要」等の意見があり、小中学生には事前に十分な防災教育を実施した上で訓練に臨ませる必要がある。
- 休日（土曜、日曜）の防災訓練実施を要望する意見が多かった。
- 同報無線の放送が聴きとれないとの意見が多数寄せられた。

■参加機関

愛知県、愛知県警察、国土交通省中部地方整備局、国土交通省中部運輸局、陸上自衛隊第10師団・第10特科連隊第3大隊、航空自衛隊小牧基地、自衛隊愛知地方協力本部、第四管区海上保安本部、名古屋地方気象台、日本赤十字社愛知県支部、西日本電信電話（株）名古屋支店、（株）NTTドコモ東海支社、ソフトバンクモバイル（株）、KDDI（株）中部総支社、（一社）愛知県警備業協会、NPO法人愛知災害救助犬協会、愛知県生活協同組合連合会、（一社）愛知県道路標識・標示業協会、日本郵便（株）西尾郵便局、中部電力（株）西尾営業所、西尾市建設業災害防止協会、愛知県LPGガス協会西三河支部南分会西尾地区会、（株）キャッチネットワーク、愛知県トラック協会西三支部西尾部会、西尾市消防設備点検協同組合、東邦ガス（株）、西尾市赤十字奉仕団、（公社）中部小型船安全協会、パラモーター パラ・くるう・ピエロ、西尾市婦人消防クラブ、（株）ミズノマリン、西尾幡豆医師会、西尾市歯科医師会、西尾市薬剤師会、西尾市社会福祉協議会、西尾市消防本部、西尾市一色消防団、西尾市吉良消防団、西尾市幡豆消防団、西尾アマチュア無線クラブ、吉良防災ハムクラブ、三ヶ根通信ボランティア、県立吉良高等学校、市立一色中学校、市立一色中部小学校、市立一色南部小学校、市立一色東部小学校、市立一色西部小学校、市立白浜小学校、市立白浜保育園、一色中部小校区自主防災会連絡協議会、一色東部小校区自主防災会連絡協議会、一色南部小校区自主防災会連絡協議会、一色西部小校区自主防災会連絡協議会、白浜小校区自主防災会連絡協議会、佐久島小校区自主防災会連絡協議会、西尾市地区交通指導員会、岐阜県恵那市、福井県越前町